



表門

【えんどうけじゅうたく（しゅおく・くら・みなみいしくら・きたいしくら・おもてもん・へい）】

遠藤家住宅(主屋・蔵・南石蔵・北石蔵・表門・塀)

大正の面影を今に

遠藤家住宅は、大正8(1919)年頃に建てられた元材木商の居家で、主屋、蔵、南石蔵、北石蔵、門、塀などから構成されている。繁華街の一角にあっても大正初期に建てられた上質な近代和風建築の様子を今に伝えている。

主屋は、南側の正面に入母屋造の玄関、西側に内装が洋風の応接室、さらには座敷部や離れを雁行させ、北側は居室としている。また、北側のレンガ造りの外壁は、塀も兼ねるなどの意匠を凝らしている。

蔵は、2階建てのレンガの蔵である。小屋組はキングポスト・トラス構造で、イギリス積みにより積み上げられたレンガの外壁は、重厚な外観を示している。

石蔵は、石塀と一体的に札幌軟石で建てられた堅牢な蔵である。

表門は、門の両側に^{ぐと}潜り戸のついた構造の大きな風格のある薬医門で、屋根は切妻造で棧瓦葺である。

蔵



塀は、敷地の四方を取り囲み、北面は主屋の外壁を取り込む形でのレンガ造りで、他の3面はこぶ出し仕上げの札幌軟石積となっている。

概要

○主屋	木造及びコンクリート造平屋建、瓦葺
○蔵	レンガ造二階建、瓦葺
○南石蔵	石造平屋建、鉄板葺
○北石蔵	石造平屋建、鉄板葺
○表門	木造、瓦葺
○塀	石造及びレンガ造
○建築面積	主屋……………671㎡
	蔵……………54㎡
	南石蔵……………18㎡
	北石蔵……………29㎡

● 建築年代：大正8(1919)年頃

● 登録年月日：平成26(2014)年10月7日

● 所在地：札幌市中央区南6条西5丁目18

● 観覧形態：敷地外からのみ観覧可

● アクセス：南北線「すすきの」3番出口より約360m
市電「東本願寺前」